

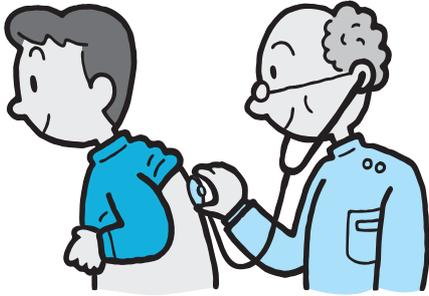


## データヘルス計画の策定について

五伝木隆幸 議員



## 科学的な根拠により、実効性の高い計画を策定していく



**質問一** 特定健康診査や診療報酬明細書等のデータの活用は。

**二** 現時点で想定されるデータヘルス計画はどのようなものになるのか。

**三** 県の糖尿病性腎症重症化予防対策事業の成果と課題は。

**四** 計画策定や事業実施に当たり、坂戸鶴ヶ島医師会との連携は。

**答弁一（市長）** 平成26年度の特定健康診査の結果を分析し、生活習慣病の予防対策が特に重要であると考へ、27年度は脂質異常症などをテーマにした健康教室等を開催した。市民の健康実態を把握するため、診療報酬明細書から抽出した医療費状況等も活用している。

**二** 特定健康診査などの生活習慣病の発症予防事業と糖尿病性腎症重症化予防対策に重点をおき、科学的根拠から健康課題を整理して

実効性の高い計画を策定したい。

**三** 糖尿病の重症化リスクが高い方への受診勧奨等により受診率が向上し、生活プログラムの実施により血液数値が維持又は改善された。一方、居住市町村以外の医療機関受診者は対象外となるなど、対象者が限定される課題が残る。

**四** 疾病重症化予防をはじめ、ジェネリック医薬品の使用促進など、医療費の適正化についても連携していく。



## 一本松駅周辺のインフラ整備について

漆畑 和司 議員



## 平成31年度の完了を目指す

**質問一** 市道64号線（線路南）、65号線、66号線、469号線の道路整備は。

**二** 一本松土地区画整理事業の進捗状況と今後の見通しは。

**三** 一本松駅南口通り線の今後の整備予定と市道77号線の地下ケール等の移設の状況は。

**四** 市道471号線の整備と南口通り線との位置付けは。

**五** 共栄一本松線（一本松駅入口から西中学校入口信号）までの歩道の整備の見通しは。

**答弁一（市長）** 市道64号線は、簡易舗装による整備をしたいと考えている。他の路線は、利用実態

等を踏まえて検討する。

**二** 27年度末の進捗状況は、仮換地指定率が86・7割、建物移転率が94・4割等であり、31年度までの完了に向けて取り組む。

**三** 一本松駅南口通り線は、今後2年間で整備する。市道77号線の地下ケール等は、現道に残す方向で関係権利者と協議している。

**四** 市道471号線は、廃道となり、それに代わる幅員9.5mの区画道路を新設する。

**五** 幅員3・5mの歩道を計画している。市道88号線から西中学校入口信号までの歩道は、29年度に暫定的な整備を行う。



一本松駅の周辺